

コード	201020701
記入日	H24.6.6

課コード	113
課名	環境課
課長名	網田 勝
担当者	前田 光昭

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	海岸漂着物地域対策推進事業
----------	---------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20102	基本事業名称	環境保全活動の推進	目コード	2
事務事業コード	2010207	事務事業名称	海岸漂着物地域対策推進事業	細目コード	1050
関連計画	長崎県海岸漂着物対策推進事業	法令・条例規則等	海岸漂着物処理推進法		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 漂着ごみ		(対象指標1)	2,150m3			
(対象2) 回収実施海岸		(対象指標2)	13カ所			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・平成22年度から平成23年度までの2カ年で、指定した重点海岸に堆積している漂着ごみを回収・処理した。海岸での漂着ごみの回収については、漁協等に委託し、回収された漂着ごみの分別・運搬については臨時職員を雇用して対応した。	・平成22年度：回収実施海岸 5カ所 回収量 388m ³ ・平成23年度：回収実施海岸 8カ所 回収量 6,151m ³	① 回収実施海岸数	13箇所	100%	実施海岸数÷ 計画海岸数	平成23年度
		① 回収実施海岸数	8箇所	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり実施した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・海岸における良好な景観と環境を保全し海岸漂着物等の円滑な処理及び発生抑制を図るため、国・県が主体となって県内各地の海岸に長年堆積している漂着ごみを回収・処理する。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 漂着物処理量	6,539m ³	523.1%	漂着物実績処理量÷ 漂着物計画処理量	平成23年度
		① 漂着物処理量	6,151m ³	683.4%		平成23年度
		(達成率分析)	計画以上の漂着量があったが、回収・処理を実施できた。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 22 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 箇所	13	13	5	8	8
	②					
成果指標	① m ³	1,250	6,539	388	900	6,151
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	48,151	70,212	25,691	22,460	44,521
直接事業費 A	千円	41,151	63,212	22,191	18,960	41,021
人件費 B	千円	7,000	7,000	3,500	3,500	3,500
内訳	従事職員数	人	1.0	1.0	0.5	0.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
財源内訳	国補助金	千円	41,151	63,141	22,191	18,960
	県補助金	千円				
	起債	千円				
その他	千円					
	一般財源	千円	7,000	7,071	3,500	3,500

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	本町は周囲を海に囲まれ、各地域の海岸には様々な漂着ごみが漂着しており、景観の保全上、漂着ごみを回収する必要があったが、回収を実施するにはかなりの財政負担を伴う。今回の事業については、ほぼ全額を県補助金により実施することが可能であったことから事業実施は有効であったと考える。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	予定していた箇所数を超える数の海岸の漂着ごみの回収を実施することができ、海岸の景観保全を図ることができた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	海岸での回収作業を地区の漁協等に委託することで回収作業がスムーズに実施でき、その後の処理作業等についても臨時作業員の雇用等により効率的に実施することができた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	<p>本町は海に囲まれているので、今後も漂着ごみが地区内の海岸に流れ着く状況である。ボランティアによる回収・漁業集落再生交付金事業による回収等との連携を図り、限られた財源を有効に活用することが必要である。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>2年間、県補助制度を活用して実施し、予想をはるかに上回る漂着ごみが処理され成果があった。周囲を海に囲まれた本町にとっては今後も継続して実施する必要があるが、回収処理に多額の財源を要することから、県との連携や他の事業との調整など、今後も景観の保全に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。